

JAAF  
SAPPORO

一般財団法人札幌陸上競技協会



## 札幌陸協情報

発行：一般財団法人札幌陸上競技協会広報委員会

令和6年12月26日発行

## 2024年を振り返り

会長 志田 幸雄

札幌陸上競技協会の皆様方のご協力、更に多くの協賛各社、支援団体の皆様方からのご支援を頂き感謝申し上げます。多くの方から愛され、支えられてきたことに深く感謝申し上げます。

2024年事業におきましては、当協会主催・主管27大会を開催いたしました。今年は、厚別公園競技場が来年度までの2年間大規模改修工事が行われ、10月に日本陸上競技連盟公認検定を受け本競技場は第一種、CLASS 2、補助競技場は第三種公認が認められました。本競技場は、スタンド回収工事のために1年間使用できなく、使用開始は、2026年（令和8年）から可能となります。但し、補助競技場は、来年度より使用可能になる予定です。

当協会は、北海道マラソン、はまなす車いすマラソン、川崎静一郎記念陸上大会、中村宏之記念陸上大会、ナイター陸上と大会のあり方を再検討し、引き続き大会を開催いたしました。選手の皆さんは、指導者の熱心なご指導のもとで一生懸命練習し、努力を積み重ね目標とした大会において、存分に成果を発揮されましたことと思います。

今年度を振り返りますと主な全国大会等で活躍されました選手は、日本選手権大会では御家瀬緑選手（現住友電工→恵庭北高出身）女子100m第2位、寺田明日香選手（ジャパンクリエイトグループ→北海道ハイテクAC→恵庭北高出身）女子100mH第3位などの活躍がありました。更に、8月に開催されました全国高校総体で畠山このみ選手（立命館慶祥高）が女子400mと400mHで優勝し二冠に輝き、北海道選手として初めて大会最優秀選手に選ばれました。男子では、札幌山の手高校の長距離が大活躍し、男子5000mでガユ サミュエルが2年生で優勝し、男子3000mSCでは、キプゲノ ケネス（3年）が第2位となりました。全国中学校選手権では、女子400mRで札幌市立あいの里東中学校チームが第2位となりました。秋の国民スポーツ大会では、少年男子B3000mで吉田星選手（東海大付属札幌高1）が優勝しました。10月に行なわれました全国高校駅伝道予選で札幌山の手高校が男女でアベック優勝し、男子第2位での全国大会出場として東海大学付属札幌高校にはそれぞれ奨励金・助成金を選手強化育成基金から行うことができました。これらの選手の活躍は、日頃からの熱心な選手指導を長期的に頂いている赤松幸広強化委員長を主とした強化委員の皆様、井上智雄普及委員長を主とした普及委員の方々を中心とした緻密な計画に基づき、指導頂きました賜物であると思います。選手強化にご理解を頂きました関係企業、協会会員皆様のご協力に感謝申し上げます。パリオリンピックへ多くの出場を目標に、指導者（小学校、中学校、高校、大学、実業団等）の皆様と一丸となって取り組んで来ましたが、残念ながら強化の目標でありました「一人でも代表選手を送り出そう」は実現できませんでした。改めて目標達成のために、今後も引き続き、指導者の皆様と一丸となって強化を図っていく所存であります。

選手の皆様におかれましては、陸上競技を通して沢山の感動を体験し、目標に向かって心を奪い立たせてもらいたいものです。夢に向かってあきらめずに努力してください。そして、皆さんの頑張る姿を通して、多くの人たちに引き続き、元氣と感動を与えてください。来年度も充実した大会での好記録達成を期待しています。また、施設改善に向けて、対応していただいている円山陸上競技場、厚別公園競技場関係者の皆様方にも感謝申し上げます。

今後とも当協会にご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

## 2024年度 事業中間報告

専務理事 金子博之

厚別公園競技場が大規模保全工事の為、円山競技場のみでの使用となりましたが、大会等事業を計画通りに進めることができました。競技者の皆様、札幌陸協会員の皆様、後援・協賛頂きました企業・団体のご協力に心より感謝いたします。

### 【各大会開催事業】

今年度は札幌陸協主催・主管21大会、学連審判協力大会7大会を予定通り実施しました。特に、使用できる競技場が円山競技場のみとなった関係から、学連主催の大会に小中学生の種目を設定していただくなどの協力を得ながら事業を進め、札幌選手権大会や中村宏之記念大会等多くの大会で好記録が生まれました。

重要性を増した医務員について、今年度も我汝会きたひろしま整形外科病院の原先生のご協力を得て、医師・看護師を派遣して頂きました。誠にありがとうございます。

### 【大会結果と強化事業】

北海道マラソン・はまなす車いすマラソンでは、前回の暑さや雷雨という悪条件下での運営上の課題について様々な改善を行い、よりスムーズな運営に努めることができました。札幌マラソンでは紙コップでの給水からマイボトル・マイカップランという新しい取り組みのもと、開催しました。

全国高校総体女子400m・400m Hで畠山このみ選手（立命館慶祥高校）、男子5000mでガユ サミュエル選手（札幌山の手高校）が優勝、男子3000m障害でキプゲノケネス選手（札幌山の手高校）が2位、国民スポーツ大会男子少年B3000mで吉田星選手（東海大札幌高）で優勝、全国中学女子400mリレーであいの里東中が2位など全国大会で多くの選手が活躍をしました。

強化事業は、道外合宿や強化練習会等を実施しました。

### 【選手強化育成基金「さっぽろ選手強化育成基金」】

全国大会で優勝、入賞した選手、学校に激励金を贈呈しました。

今年度ご協力企業や本協会会員の皆様のご協力を得て、8月末現在30万円の基金増資を行うことができました。誠にありがとうございます。

### 【競技場整備】

2024年から2年間実施予定の厚別競技場大規模保全工事に伴う円山競技場の利用等について要望書を札幌市に提出しました。厚別公園競技場の日本陸連・WAクラス2検定が10月下旬に終了しました。



工事視察（7月）



検定（10月）主競技場



検定（10月）補助競技場

## 記録室 全国大会入賞者等

### ■第40回U20日本陸上競技選手権大会 (テノカビッグスワンスタジアム6/27~6/30)

○女子400MH 第3位  
畠山 このみ(立命館慶祥3)

### ■第51回全日本中学校選手権 (福井県陸上競技場 8/17~8/20)

○女子4×100mR 第2位 47.81

札幌あいの里東中

石川 乃唯(2)

庄司 優維(2)

村松 夏帆(3)

山口 亜琴(3)

○女子走幅跳 第4位 5m64(+2.9)

黒館 未采(札幌前田中拠点校3)

### ■第78回国民体育大会

(佐賀・SAGAサンライズパーク/SAGAスタジアム 10/11~10/15)

○少年B男子3000m 優勝 8:07.12

吉田 星(東海大札幌高1)

○少年A女子300mH 第6位 42.43

畠山 このみ(立命館慶祥高3)

### ■第18回U18陸上競技大会

### 第55回U16陸上競技大会

(三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場 10/18~10/20)

○U16女子走高跳 第3位 1m66

大脇 ことね(札幌藻岩中2)

### ■第77回インターハイ

(福岡市博多の森陸上競技場 7/28~8/1)

○女子400m 優勝 54.89

畠山 このみ(立命館慶祥3)

○女子400mH 優勝 58.23

畠山 このみ(立命館慶祥3)

○男子5000m 優勝 13:38.84

ガユ サミュエル(札幌山の手2)

○男子3000SC 第2位 8:42.54

キプゲノ ケネス(札幌山の手3)

### 女子最優秀選手

畠山 このみ(立命館慶祥 3年)

400m・400mH 優勝

### ■第76回全日本実業団対抗選手権

(山口・維新百年記念公園陸上競技場 9/21~9/23)

○女子100m 第4位 11.84(+0.6)

島田 雪菜(北海道ハイテクAC)

## 第12回中村宏之記念陸上競技大会を開催いたしました。

～ ご参加いただいた皆様、本大会ご協賛各社様、  
大会関係者様、心より感謝申し上げます。～

令和6年10月12日（土）に札幌市円山陸上競技場にて、快晴のもとに第12回中村宏之記念陸上競技大会を開催しました。今年も、小学生からマスタースまでのすべてのカテゴリーによる様々な種目を開催し、参加者は1000名を超える大会となり、すべてのカテゴリーのアスリート育成に寄与する大会となりました。

大会を終了に際しまして、多くの皆様にご参加及び大会運営にご協力をいただき誠にありがとうございました。



(志田幸雄会長・中村宏之副会長)



(中学男子100m決勝)



(一般・高校女子100m決勝)



(大会最優秀・優秀選手表彰)

# 2024年度第20回・第21回・第22回 小学生陸上競技クリニック開催報告

札幌陸上競技協会指導者協議会代表 仁井 友介

令和6年8月11日(日)・8月21日(水)、10月19日(土)札幌市円山陸上競技場にて小学生陸上競技クリニックを開催しました。8/11は走り方のポイントを学んだ後に低学年はスタンディングスタート、高学年はクラウチングスタートを集中的に実施。8/21は股関節の使い方に体幹トレーニングを中心に実施し、最後は学年によりハンデをつけながら参加者みんなで競争を行いその速さを競いました。10月は更にジュニア選手育成、競技力向上、普及を目的として開催いたしましたが当時雨天により残念ながらグラウンドが使用できませんでした。今回は興味のある種目や頑張りたい種目の知見を深めていただきたく〔走る・跳ぶ・投げる〕を選択いただき体験していただきました。講師はトップアスリートとしての経験や指導現場での多くの経験を積んだ現役の指導者となりますので、ぜひこの機会に陸上競技の魅力に触れていただきたく思います。

1. 主催 一般財団法人札幌陸上競技協会
2. 主管 一般財団法人札幌陸上競技協会指導者協議会
3. 協賛 長谷川体育施設株式会社 日本体育施設株式会社 山崎製パン株式会社
4. 開催場所 札幌市円山競技場 (札幌市中央区宮ヶ丘3丁目)
5. スタッフ 北風 沙織(短距離:元日本記録保持者) 馬場 友也(短距離:日本選手権入賞) 仁井 有介(短距離:全日本実業団優勝) 村岡 柊有(ハードル:現役実業団ハードラー) 川口 徹祐(走高跳:札幌市中体連走高跳強化コーチ) 江戸 祥彦(走高跳:北海道記録保持者) 野口 夏貴(ジャベリックボール投:北日本学生陸上優勝) 志田 幸雄(会長) 志田 光瑞(広報委員長)等々
6. 参加料 各1000円ただし22回は無料
7. 参加人数 第20回 36名 第21回 26名 第22回雨天により競技役員室にて。



## 2023年度 札幌陸上競技協会表彰 特別章・審判功績章・指導者章



(2024年9月8日 第89回札幌陸上競技選手権大会にて表彰)

### 訃 報

この度、当協会にご功績のあった方がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

会員 齋藤 泰子 様 11月29日ご逝去

発行 一般財団法人札幌陸上競技協会  
広 報 委 員 会

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番5号  
札幌市中島体育センター内  
電話・FAX : (011)532-2471  
<https://jaaf-sapporo.jp/>